

■ 『終わってから』で明日が変わる ■

朝も早くから寒かったり暑かったり、長々待ったり寸暇を惜しんで歩き回ったり…。会場にいる間は夢中になっているので気づきにくいですが、あなたの体力は確実に消耗していく。前項のように事前に余裕がなかったりした場合はなおさらだが、それが自覚されるのは（個人差があるが）お祭り気分の高揚感が消えた瞬間。

そこでどう行動するかで、翌日（…今回に関しては実に『来年』!）のコンディションが大きく変わるのだ。

●Act0：どこで退くかが、勝利のカギだ！

コミケで避けて通りたいのが閉会後のラッシュだ。ただでさえ会場内で十分にくたびれているのに、その上荷物は重い待つのは辛いわ日も暮れて寒いわと、実にぐったりな気分になってしまう。というわけで、時間をずらして上手にオフピークを計り、余計な疲労をさらに背負い込まないようにするのが、賢いやり方だ。

・OFF PEAK：Befor とにかく早い者勝ち！

特定のサークルなど、お目当てをクリアできればという人、今日は自分のメインジャンルではないという人など向けの、とにかくみんなが帰りはじめる前にいち早く帰ってしまおうという作戦だ。

とは言え、早くと言っても閉会時間30分前ではたいした効果はない。サークル参加者の早上がり組（別にコミケ的にそういうくくりがあるわけではないのだが）がどっと帰り始める午後3時には会場を出るつもりで予定を組もう。ちなみに、重い荷物は会場内・近隣のコンビニから宅配便発送してしまうと楽なのだ（ただしその場合は荷送り用の袋類を事前に用意しておく必要がある）。

つついああと1サークル、後10分と後ろ髪を引かれているうちに気が付いたら閉会の拍手をしていた、という事態に陥らないようとにかく**鋼鉄の意志を持って帰る決断を下す**こと。特に帰宅時間を約束していたり、遠方から来場している**未成年参加者は帰宅時間を厳守**すること。家族に心配をかけるようではコミケのルールを破っているのも同然だということを肝に銘じておこう。

・OFF PEAK：After 余裕があるならのんびりもアリ！

こちらホテル泊や都内近郊からの来場者など、少々遅くなくても問題無しという時間に余裕がある参加者向けの、ラッシュが解消されるまでのんびり待とうという作戦。ラッシュそのものは現在交通機関の輸送力強化によって、概ね閉会后1時間半ほどでかなり緩和される傾向にあるので、その間をお茶でも飲みながら待つわけだ。しかし、会場であるビッグサイトからはコミケの閉会後は翌日の搬入などの作業がない限りできるだけ**速やかに退出するのがルール**なので、会場内でだらだらしてはいけな。『コミケのついでにお台場周辺観光』というようなプランをあらかじめ組んでおけば時間も体力も有意義に使えるというものだ。

とはいえ、駅やパレットタウンなどの近隣商業施設のレストランで早速今日の戦果を広げたり、ベンチに山と積んで分配会などという**ド髯蟻行為**は絶対にやらないように！

こちらの作戦を取る場合でもやはり同人誌やもう使わない会場内用の装備は宅配便の受付開始と共にさっさと発送してしまえば、早ければ翌朝(!)には自宅に届くし、体力的にも気分的にも楽♪

●Act1：何はともあれお風呂でさっぱり！

前項でも触れたが、とにかく効果と手軽さで入浴に勝る疲労回復手段はほとんど無い。

普段はシャワーで済ませるという向きも、こういう時にはゆっくりお湯につかると良い。その際は熱い湯にさっと入るよりも、ぬるめのお湯にゆっくりつかりながら脚などをマッサージするとより効果的だ。

ちなみに今は多くの銭湯では手ぶらで行っても入浴できるタオルや石鹸などのセットを販売しているので、コミケ帰りにも非常に便利だ。

まずはみんなで温泉気分で一風呂浴びてから、ゆったりと打ち上げを楽しむのも乙なもの。

なお、都内の銭湯の多くも、大晦日には特別営業を行っているのでチェックしてみよう。

ホテル泊でもバスタブに湯を張って、コンビニでも入手できる入浴剤を使えば、リフレッシュ効果も倍増するというものだ。浅く熱めの湯を張ってゆっくり足湯を楽しむのも手だ。とにかく最大限、お風呂というリラクゼーション装置を活用して疲れを癒そう。

お風呂上りには十分に水分を摂って一息。

※東京都浴場組合：<http://www.1010.or.jp/>

